

令和7年度 剣道第一種審査 受審者講習会 開催要項

1. 趣 旨 剣道一種審査の受審を希望する受講者の論理的・技術的な理解を深める。
2. 実施内容 (1) 受審者の心構えについての指導
(2) 受審段位に応じた剣道実技の指導
(3) 日本剣道形の基礎的知識の習得と実践の指導
(4) 基礎的な剣道理論の解説
(5) 学科試験
3. 受講認定 (1) 実施内容の(1)から(4)について修了した者
(2) 実施内容の(5)に基づく試験に合格した者
4. 運用指針 (1) 実施内容の(1)から(5)については、概ね4時間での実施とするが時間配分や日程の分割実施等の弾力的な運用を可とする。
(2) 実施内容の(5)に基づく試験については、全日本剣道連盟発行の「剣道学科審査の問題例と回答例」の当該段位を基本とした内容とする。
(3) 学科試験の実施方法については、弾力的な運用を可とする。
5. 受講登録 (1) 受講登録者名簿の申請は、8号様式(様式集11頁)により主催剣連が道剣連に報告する。
(2) 剣道第一種審査受審資格に対する有効期間は1年以内とする。
6. 個人情報保護法への対応
参加者の個人情報は事業運営のために利用する。なお、目的に合わせた公表媒体(ホームページ・「剣友北海道」等)に公表することがある。更に、普及発展のためマスコミ関係に必要な情報提供をする事がある。
7. その他 (1) 主催剣連において、開催案内始め講師・役員選任等の全ての運営をする。
(2) 修了証書は主催剣連が任意書式で作成し交付する。
(3) 講習会の実施内容の参考例は下記の通り。

剣道第一種審査 受審者講習会 指導内容(例)

指導項目	指導内容	時間配分
受審者の心構え について	・着装 ・受審者心得 ・礼法 ・審査要領の解説	30分程度
剣道実技 基本打突を中心 として	・礼法の確認 ・一足一刀の正面打ち(発声) ・切り返しの重要性について(解説) ・打ち込み稽古の要領(攻め技) 打つ機会をとらえて打つことと、打つ機会を与えて打たせること ・掛かり稽古の要領(応じ技) ・互格稽古の要領	90分程度
日本剣道形の 実践	・五行の構え(中段の構えの重要性) ・剣道形の所作 ・師と弟子の位(打太刀と仕太刀の意味の説明) ・元気のよい発声	60分程度
剣道理論	・基礎的な解説	30分程度
学科試験 まとめ	・理論に関する理解度の点検(試験) ・審査会までの心構えについて	30分程度